

第6回「社会と情報に関するシンポジウム」1996

社会情報学部研究委員会 勝井 義雄

5年前に札幌学院大学社会情報学部の創立を記念して開催した「社会と情報に関するシンポジウム」は、その後、夏休み直前の年中行事として定着して行われるようになった。このたび第6回シンポジウムが7月26～27日、本学C館において開催された。

今回のシンポジウムでは、初日、まず北海道大学文学部・阿部純一教授が心理学の立場から「脳のなかの言語情報処理」と題して脳一心のなかの言語情報処理について詳述された。ついで静岡県立大学国際関係学部・石川准助教授が「コンピュータと障害者：アクセシビリティの社会学」と題して障害者の視点からみた情報機器の問題を説かれた。さらに、神奈川大学・川上幸一名誉教授が「人類史における言語の起源」について興味ある自説を話された。これらの講演をめぐって、講演者と学内外の参加者約40名との間に活発な質疑・応答が行われ、特に川上名誉教授の講演については本学の佐倉朔教授から頭蓋容積・舌骨の変化などに関する貴重なコメントがあった。討論や情報交換は本学建学記念館（文泉館）での懇親会までつづいた。

翌日、三人の先生方の補足講演と総括討論が行われ、ついで本学の是永論講師により「サマリートーク」がなされ、最後に田中一教授から今年四月に発足した「日本社会情報学会」（会長・田中一）の創立について挨拶があり、二日間のシンポジウムを終了した。

今回のシンポジウムは日本社会情報学会創立の年にふさわしい有意義なものであった。このような成果を収め得たのは、ご多用中にもかかわらず遠路本学にご来駕たまわった上記三先生をはじめ、学内外の方々のシンポジウムに対する格別な熱意とご支援によるものである。このシンポジウムは日本社会情報学会、北海道社会学会ならびに情報処理学会北海道支部からご後援をいただいた。また、準備、講演・討論の録音テープ起こしなどには多くの方々のご協力を得た。報告にあたり以上の各位に深く謝意を表する。

■プログラム内容

第1日目

挨拶

札幌学院大学社会情報学部長 狩野 陽

講演1 「脳のなかの言語情報処理」

北海道大学文学部教授 阿部純一

講演2 「コンピュータと障害者：アクセシビリティの社会学」

静岡県立大学国際関係学部助教授 石川 准

講演3 「人類史における言語の起源」

神奈川大学名誉教授 川上幸一

第2日目

補足報告および総括討論

阿部純一

石川 准

川上幸一

「サマリートーク」

札幌学院大学社会情報学部講師 是永 論

「日本社会情報学会の創設について」

札幌学院大学社会情報学部教授 田中 一

司 会 札幌学院大学社会情報学部研究委員会

早田和弥 井上芳保

金 明哲 勝井義雄